

令和8年6月5日
村山総合支庁
総務企画部総務課

報道関係者 各位

関係人口の意味と意義を考えるセミナーを開催
～村山地域みらい共創推進研究会 第1回～

村山総合支庁では、昨年度に引き続き、村山地域7市7町と連携して地域課題解決の方策を考える「村山地域みらい共創推進研究会」を開催してまいります。

このたび、第1回として、「関係人口の意味と意義」をテーマに下記のとおり研究会を開催します。つきましては、当日の取材、報道について御協力をお願いします。

記

- 1 日 時 令和8年6月15日（月）13時30分～（2時間程度、予定）
- 2 場 所 村山総合支庁講堂（山形市鉄砲町2丁目19-68）
- 3 対 象 者 村山総合支庁管内市町職員 等
- 4 テ ー マ 関係人口の意味と意義
～「ふるさと住民登録制度」開始に向けた準備～
- 5 内 容（予定）※ 詳細は別添のとおり
 - ◆ イントロダクション 山形大学人文社会科学部 教授 山田 浩久 氏

 - ◆ グループワーク：関係人口の活用について



【問い合わせ先】
村山総合支庁総務企画部総務課
連携支援室 室長補佐 長谷川
電話 023-621-8353
【広報監】
総務企画部長 音山

村山地域みらい共創推進研究会

第1回 関係人口の意味と意義について ～「ふるさと住民登録制度」開始に向けた準備～

【開催趣旨】

人口減少が進む中であっても地域の活力を維持していくため、地域活動の担い手として「関係人口」も重要な選択肢の一つとなってくる。今年度中に始動する予定の「ふるさと住民登録制度」の開始に向けた準備として、各市町で検討が必要となる「担い手活動」について考えると共に、村山地域の市町の関係性を活かした持続可能な地域活力の維持について考えるきっかけとする。

【日 時】 令和8年6月15日（月）13時30分～

【会 場】 村山総合支庁 講堂（2階）

【参加者】 村山管内14市町担当職員ほか（約30名）

【内容（予定）】

◆ イントロダクション

（山形大学人文社会科学部 教授 山田 浩久 氏）

◆ グループワーク：関係人口の活用について

【主 催】 山形県村山総合支庁（総務課連携支援室）

村山地域みらい共創推進研究会

少子高齢化を伴う人口減少社会を見据え、持続可能な地域社会の形成に向けて、村山地域7市7町に共通する課題の解決に向け勉強会を開催。